

室戸支所管内より



谷口家のバロンだよ!

バロンくん(8)
飼い主: 谷口 誠治さん

大好きな豚のおもちゃを口に加えて「僕と遊んで!」と言わんばかりにお腹をゴロンとして迎え入れてくれたゴールデンレトリバーのバロンくん。谷口家に来たのは生後3カ月の頃。知り合いの方から「貰ってくれんろうか?」とお家に来た時に一目惚れして育てたいと思ったそうです。

そんなバロンくんは、飼い主の誠治さんと米子さんの事が大好き! 誠治さんと米子さんが軽トラでお出かけしようと発進すると首輪をいとも簡単に外して、後ろから走ってついてくるんですって! 特に最近、雷や雨の日はべったりと離れないので一緒に寝ます☆ その姿を想像するだけで、かわいいですね~!

取材中に撮影したこの気持ちよさそうな表情のバロンくんは誠治さんがなでなでしている瞬間に撮れたベストショットです♥



仲良し姉弟♪

ながの きら
長野 姫蘭ちゃん(9)
しゅうすけ
秀亮くん(4)

可愛い三つ編み姿で登場してくれたお姉ちゃんの姫蘭ちゃんとお気に入りの自転車に乗って登場してくれた弟の秀亮くん。秀亮くんはお姉ちゃんの姫蘭ちゃんの事が大好き! 何をしてもお姉ちゃんの真似っこです。

そんな2人は祖父・孝雄さんが栽培しているナスで作る「ナスとミンチのピリ辛味噌炒め」が大好物! お姉ちゃんが食べているのを見て秀亮くんも食べられるようになったのかな?? ♪

姫蘭ちゃんの将来の夢は「警察官」に、秀亮くんは「ウルトラマンのタロウ」になりたいそうです。

父・剛臣さんと母・美恵さんは「健康で自分らしく好きな人生を歩んでほしい」と2人の幸せを願っています。

穴内事業所管内より



安芸
地区

から こんには 今月の○○ 気になる人

あき東支所管内より



来年は葡萄を实らせたい

樋口 なぎささん(65)

「パイナップルは買ってでも食べたいくらい好き」と笑顔で話してくれたなぎささんの趣味は大好物のパイナップル栽培です。20年前に子供が保育園の給食で出たパイナップルのヘタを持って帰ってきて鉢植えで育てたのが始まりだそうです。作ったパイナップルはヘタを植えてどんどん増やしていき、今ではなんと50個ほどになったそうです!

ハウスには他にも葡萄やライチなど南国植物が沢山あり、趣味とは思えないほどの規模に感動しました。写真に写るパイナップルの実も立派ですよ! この大きさになるまで2年かかるそうです。出来たパイナップルは知り合いや友達にお裾分けをして、食べた方からは「まるやかで甘くて美味しい! 販売したらいいのに」と大好評です。

そんな、なぎささんの新たな目標は、葡萄を实らす事だそうです。今後の挑戦にも目が離せませんね!

羽根事務所管内より



自衛隊員から農業の道へ

村上 功二さん(35)

父・福雄さん、母・ひとみさんとナス35アールを栽培する功二さん。高校卒業後は、陸上自衛隊で働いており戦車の演習や設備など4年間の経験を積み任期が満了した後、高知へ戻ってきました。自衛隊を卒業後は、両親の農作業を手伝うようになった事がきっかけで農業の道へ。「最初の3年は栽培技術の習得に苦労しましたが、両親の作業を見よう見まねで、教えてもらいながら経験を積みました」と当時を振り返ります。

13年目を迎える今作からは、試験的に新しいナスの品種「PC お竜」にも挑戦します。結果が良ければ規模を増やしていきたいと力を入れています。

自衛隊に勤務していた頃は出掛ける際に外出許可が必要だった功二さん。農業を始めてからは時間にゆとりが持てる生活を送っているそうで「収穫が終われば昼からドライブに行ったり休日を楽しんでいます」と笑顔で話してくれました。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 地区本部

ボクササイズで脂肪燃焼



インストラクターと共に楽しく動く部員ら

女性部安芸地区は9月10日、安芸市で「女性大学ときめき学園」を開きました。部員や地域住民19人が参加し、ボクササイズを行いました。フィットネスインストラクターの早川理香さんを講師に迎え、ボクササイズでなまった体をシェイプアップしました。部員は激しい音楽に合わせて、ジャブやアッパーなどボクシングの基本動作を繰り返しながら約1時間体を動かして楽しみました。

3 吉良川支部

青壮年部と児童が植え付け



宇賀支部長とジャガイモの植え付けを楽しむ児童

青壮年部安芸地区の吉良川支部は9月27日、室戸市立吉良川小学校の1、2年生の児童11人と野菜の種まきをしました。部員が畝を作り、ジャガイモの植え付けとダイコンの種のまき方を説明。児童は種をまき、土を優しく被せ、仕上げに水やりをしました。児童は「カレーで食べるのが楽しみ」と収穫を待ち望んでいました。宇賀康雄支部長は「子どもたちが農業に触れて自分達で作った野菜を食べてありがたさを感じてほしい」と交流を楽しみました。

6 安芸営農経済センター

職員と活発に意見交換



品目宣伝の経過について説明する職員

JA高知県安芸地区園芸女性部は9月13日、あき支所で通常総会と、JA関係者との意見交換会を開きました。意見交換会には、部員やJA職員など40人が参加。営農販売事業本部と安芸集出荷場の職員が販売状況を説明しました。意見交換後には、茶話会を開き、部員と職員が交流しました。同園芸女性部の江川由美子部長は、「知らなかった事や聞きたい事が聞けて不安が解消した」と話しました。

4 安芸ユズ加工場

ユズ農家 東大生の調査に協力



インタビューを受ける生産者の小松さん

JA高知県安芸地区は9月6、7日の2日間、安芸ユズ加工場で東京大学在学中の山崎恭平さんのヒアリング調査に協力しました。山崎さんは修士論文を作成する中で、生産量日本一を誇る安芸市のユズに着目しました。同日は、安芸市のユズ農家9人にヒアリング調査を行い、農家の生の声に触れました。調査に協力したユズ生産者の小松正博さんは「安芸市のユズに注目し、関心を持ってくれたことが嬉しい」と激励しました。

JA高知県安芸地区は9月23、24の両日、高知市のJAファーマーズマーケットとさのさとで開かれた「土佐の豊穰祭2022とさのさと会場 実りの感謝祭」に出店しました。生産者がユズぼん酢「まっことゆず」や室戸市特産のサツマイモ「西山きんととき」を販売し、多くの来場者でにぎわいました。安芸ユズ加工場運営委員会は、生産者やJAら8人が「株Mizkan(本社)愛知」の県産ユズを使ったぼん酢「まっことゆず」を販売。「なすのタタ

キセツ」と題し、特産のナス3本とミョウガ1パックを付けて特別価格で販売。2日間で400セットを販売しました。また、「まっことゆず」の誕生秘話やレシピを紹介した冊子を購入客に無料で配布しました。レシピ本は、一般販売はせずJA高知県の各支所の窓口などで配布する予定です。同委員会の中屋導運営委員長は「レシピ本を見ながら、ぼん酢を楽しんでほしい」と呼び掛けました。



完成したレシピ本をPRする生産者

1 地区本部

まっことゆずのレシピ本が完成！土佐の豊穰祭で無料配布



室戸市吉良川町の西山台地で9月下旬、サツマイモ「土佐紅」の収穫が最盛期を迎えました。芸東集出荷場イモ部会では、200トの出荷を目指します。今年は適度な雨と晴天が続く、品質は上々です。収穫は10月末まで続きます。同部会は、日当たりと水はけの良い肥沃な赤土で育ったサツマイモを「西山きんととき」のブランド名で販売しています。高知市の日曜市の芋天にも使われ、柔らかい皮とほくほくとした食感が特徴です。

収穫後に貯蔵熟成し、糖度が増したものを翌年5月頃まで出荷していく予定です。芸東集出荷場イモ部会では、11人が約8ヘクタールで栽培しています。9月25日頃から収穫を始めた細松卓也さんは、「イモは貯蔵する事で甘みが増すので、ほどよい甘みと食感を「家庭で楽しんでほしい。みそ汁や天ぷらなどの料理がおすすめ」と呼び掛けました。



「西山きんととき」の出来を確認する細松さん

2 吉良川支所

「西山きんととき」収穫最盛期 秋の味覚を楽しんで

えいのう〜



栽培管理

ナス



安芸営農経済センター 営農指導課 芸東ブロック 池知 雅貴

段々と寒さも増してきました。厳寒期に向けて早めの保温対策と加温機の準備をしましょう。

【整枝・摘葉・光環境】

二重内張りを開けるとともに、下部部の本葉を適用して採光性をよくしましょう。厳寒期の赤果、青べた果、首細果の発生防止のため、1芽切り戻しとふところの整理を徹底して行いましょう。

【灌水・追肥】

灌水は1〜3日ごとを目安とし、天候、樹勢を考慮して晴天日の午前中に行いましょう。11月の1ヶ月当りの施肥量は10アール当たりチッソ成分で7kgを目安とする。ハチ受粉の場合は灌水・追肥をやや多めにしましょう。

【苦土対策】

予防として200ℓに1kgの硫酸マグネシウムを10日ごとに葉面散布しましょう。特に新設ハウスや毎年出るようなハウスは早めから予防に努めましょう。

【温度管理】

朝方(6〜9時頃)の急激な湿度低下は「ボケ果」の発生を助長するため、徐々に透かしながらゆっくり温度を上げる。昼間(11〜14時頃)は26〜29℃を目安に管理し、樹勢を見ながら調整する。花粉の稔性を確保するため、夜温は最低12℃を確保しましょう。

【病害虫防除】

黒枯病、すずかび病対策として月2回程度の薬剤散布は必ず行いましょう。発生した場合は発病葉を持ち出す。フザリウム立枯病が発生した株は根元から切り取る。害虫が発生した場合は、天敵への影響を考慮して薬剤を使用しましょう。



収穫期の管理

カンキツ



安芸営農経済センター 営農指導課 山影 学

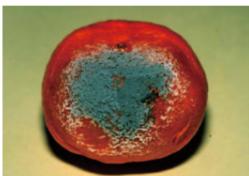
収穫作業では安全管理を徹底し、怪我のないよう注意しましょう。

【収穫作業時の注意点】

収穫に使うハサミは、果実に傷をつけない形状の採果用ハサミを使用します。また、ナスの収穫ではトゲが長く硬いため、帽子やゴーグル等で頭部を保護し、服装はヤッケなどを着用し、収穫作業を行いましょう。

【貯蔵病害対策】

収穫時の傷口等から病原菌が侵入し、徐々に病斑が拡大します。青かび病は貯蔵後期に発生が多くなり、緑かび病は貯蔵初期からの発生が多くなります。果実に水滴が付着している降雨直後は収穫を避け、収穫時のハサミ傷等に注意し、収穫前には薬剤散布を行いましょう。



青かび病

(防除例)

ベフトップジンフロアブル 1500倍 収穫前日 2回以内

「鳥獣被害と対策」

●鳥獣被害の現状

野生鳥獣による県内の農林被害額(有害捕獲許可に基づく集計)は、平成24年度をピークに、減少傾向を示していますが、依然1億円を超えています。安芸管内でも深刻な被害を受けているほ場が確認されています。ユズやナシなど果樹における被害としては、果実の食害、掘り返しによる倒伏、新梢の食害や樹皮を剥がれるといったもので、樹体への影響だけではなく、生産者の営農意欲の低下にも繋がっています。



シカの食害によって樹皮を剥がされたユズ

●鳥獣被害の原因と対策

農作物への鳥獣被害が増えた原因と

しては、集落の過疎化・高齢化、狩猟者の減少などが挙げられますが、「人間が行っている無意識の餌付け」も原因の一つです。ここでは、対策を3つ紹介します。

対策①「無意識の餌付け」をやめる

未収穫の果実や残渣、稲刈り後のひこばえを放置するといった行為は「無意識の餌付け」と言われます。鳥獣からすれば、苦勞せずにエサが食べられる、まさに楽園です。

では、なぜ放置されているのか? 答えは、そこに「被害」という意識がないからです。例えば残渣が食べられたとしても、「被害を受けた」と感じる人は少ないでしょう。「被害」と感じなければ、対策も何もありません。

この「無意識の餌付け」が二つのきっかけとなり、間接的に被害を受けている生産者がいることを一度考えていただきたいと思えます。また、「栽培している農作物」が被害にあっているのに、何も対策を講じないことも「無意識の餌付け」につながります。

対策②侵入しにくい環境整備

餌付け対策と同時に、野生鳥獣に「この集落・ほ場には近づきにくい」と思わせることが必要です。

そもそも鳥獣は臆病であり、はじめは人に見つからないように集落に侵入します。ヤブや草木が茂った耕作放棄地は、絶好の隠れ場所です。また、ほ場と山林との境界が分からないほど草木が茂っている場合も、鳥獣が侵入しやすい環境になります。そういった草木を除去し、見通しの良い環境を作れば、鳥獣が侵入しにくくなり、被害の抑制に繋がります。

対策③「囲い」で守る

集落・ほ場を防鳥ネットや柵等の防護柵で囲って、物理的に侵入できないようにします。注意点として鳥獣ごとに適した柵の種類や高さが異なるため、「被害を与えている鳥獣」を特定しておく必要があります。また、ワイヤーメッシュ柵などを設置する際には、柵の下部に隙間がないようにしましょう。



ネットによる囲いただし、下に隙間があり鳥獣は入り放題

●おわりに

鳥獣被害対策を推進するため、狩猟免許の取得や防護柵の設置に対して助成を行っている市町村もあります。また、JA高知県安芸地区内に鳥獣被害対策専門員が配置されており、集落での取り組みを支援する体制がとられていますので、お困りの際は、ご相談ください。

公文 省吾

振興センターだより

あき本所 088713418325

羽根支所 088712416355

安芸農業振興センター 088713410138

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

地元の「メリーガーデン」私はまだ行った事はないですが、テレビでも放送されていて凄く有名ですね！マンゴー作り珍しいですね！本場に美味しそうですね。マンゴースムージー一度飲んでみたいですね！
(あき支所・63歳)

▼マンゴーの果肉そのものの味でもとてもおいしかったです！素敵なお庭を眺めながら食事ができるようなっているの一度ぜひ足を運んでみて下さい！

レモンをそのまま絞って飲むのが一番美味しいとあるので、試してみたいです。レモンの木は以前、家にあり葉を手で揉むと、とてもいい香りがして良かったのですが、切ってしまい残念です。
(安田支所・69歳)

▼私の家でも4年前に植えたレモンの木が今年初めて実りました。今年実にならなかつたら切ろうと思っていた所だったので気長に待つて良かったです。早速、レモンをサイダーに絞って飲んでみようと思います。

高知に出掛けるたびに立ち寄るマル二ガーデン。買い物だけでなく店内をぐるぐる回るだけで癒されます。
(安田支所・64歳)

▼私もついつい用事が無くても寄ってしまいます！変わった花瓶や沢山の花の種類があつて何度行つても飽きない魅力がありますよね！県内の花をふんだんに織り交せた花束も素敵でした。

広報のつぶやき

待ちに待った「まっことゆず」のレシピ本がついに完成しました！

このレシピ本には、30レシピが掲載されていますが、私のイチオシは安芸ユズ加工場運営委員長の中屋導さんのせせり肉に大根おろしとまっことゆずをかけた「大根ゆずせせり」です！お酒やご飯のお供にぴったりで簡単に作れるのが魅力なんです！

この写真は中屋さんのご自宅でのレシピ本の写真の撮影が行われている様子です。是非、ご家庭で作ってみて下さい！

レシピ本は、一般販売はしませんが、JA高知県の各支所の窓口にて配布する予定です。窓口で見かけた方は手に取って読んでみて下さいね！
(恒石)



ゆず農家とミツカンと一緒に作ったぽん酢「まっことゆず」のレシピ本がついに完成！！

掲載レシピ数はなんと30レシピ！TV番組 RKC「これぞ！#まっこと高知の実家メシ！」での一般応募やRKC調理製菓専門学校と協力したレシピを掲載しています。JA高知県の組合員も登場しており、TVCMにもご出演された、安芸ユズ加工場運営委員長の中屋導さんの「大根ゆずせせり」や、ユズ農家の野川伸子さんの地元生産者から頂いた野菜や、自家製のきくらげを使った「まっことゆず鶏」レシピなども掲載しています。

レシピ本は一般販売はせず、JA高知県の各支所の窓口などで配布する予定です。

さっそく9月24日には、JAファーマーズマーケットとさのさとで開かれた「土佐の豊穰祭」にてまっことゆずを購入頂いた方にレシピ本を配りました。支所で見かけた方は是非、読んでみて下さい！



税務相談日

令和4年12月21日(水)

会場 あき支所3階

時間 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部

企画組合員課 0887-34-1515